

今日のトピック 自動車業界の2020年度4-6月期決算は？ 新型コロナの影響から営業赤字が増加

新型コロナ感染拡大が自動車業界を直撃

- 新型コロナの感染拡大による需要急減で2020年4-6月期は世界の大半の自動車メーカーが最終赤字を計上しましたが、トヨタ自動車は大幅な減益ながら営業利益139億円、純利益1,588億円の黒字となり収益力の強さが際立つ結果となりました。いち早く販売回復につなげたことや原価低減を進め損益分岐点を引き下げたことなどが寄与しました。ホンダと日産自動車は営業赤字となりました。
- トヨタグループの主要8社の4-6月期の連結決算は、新型コロナの影響による世界的な自動車生産の大幅減に加えて自動運転など「CASE」への先行投資負担を受け全社が減収、7社が営業赤字となりました。

【自動車大手3社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		20年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	20年4-6月期	21年3月期見通し	20年4-6月期	21年3月期見通し	
トヨタ自動車	46,008 (▲40)	240,000 (▲20)	139 (▲98)	5,000 (▲79)	105
ホンダ	21,238 (▲47)	128,000 (▲14)	▲1,137 (-)	2,000 (▲68)	106
日産自動車	11,742 (▲51)	78,000 (▲21)	▲1,539 (-)	▲4,700 (-)	105.7

【トヨタグループ各社の連結業績】

企業名	売上高 (億円)		営業利益 (億円)		20年度為替想定 (円) (円/米ドル)
	20年4-6月期	21年3月期見通し	20年4-6月期	21年3月期見通し	
デンソー	7,651 (▲42)	45,400 (▲12)	▲1,066 (-)	1,000 (+64)	106
アイシン精機	5,553 (▲42)	33,800 (▲11)	▲800 (-)	500 (▲11)	106
豊田自動織機	4,309 (▲22)	19,000 (▲12)	▲65 (-)	600 (▲53)	106
豊田通商	11,940 (▲29)	*	191 (▲66)	1,530 (▲27)	105
ジェイテクト	1,953 (▲46)	11,400 (▲20)	▲299 (-)	▲200 (-)	106
トヨタ紡織	2,121 (▲40)	11,400 (▲17)	▲141 (-)	130 (▲73)	106
豊田合成	1,112 (▲47)	6,900 (▲15)	▲98 (-)	180 (+1)	*108
愛知製鋼	362 (▲43)	1,960 (▲19)	▲27 (-)	5 (▲96)	*

(注1) カッコ内は前年同期比増減率、単位は%。トヨタ自動車、ホンダ、デンソー、アイシン精機、豊田自動織機、豊田通商、ジェイテクト、トヨタ紡織、豊田合成は国際会計基準。

(注2) トヨタ自動車の主要グループ8社は日本経済新聞社の分類による。為替想定は20年度の円/米ドル想定レート。

(注3) (*) 豊田合成の為替想定は4-6月期、愛知製鋼は決算短信などに未記載、豊田通商は売上高見通しは未公表。

(出所) 各社決算資料データを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここも
チェック!

2020年8月 6日 4-6月期の日米企業業績は前年同期比大幅減益
2020年6月12日 自動車業界の2019年度業績は？

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。